

歩行中の小学生が遭遇する交通事故現場の特徴

Study on characteristics of traffic accident scenes encountered by elementary school students walking

○大庭 郁海¹, 牟田 聡子², 八藤後 猛²

*Ikumi Oba¹, Satoko Muta², Takeshi Yatogo²

Analyzing the number of traffic accidents when elementary school students walked according to the time of occurrence the accident, it was noticeably concentrated from 16:00 to 18:00 and then from 14:00 to 16:00.

Naka-ku, Hamamatsu City has the most traffic accidents among elementary school students in the country. Therefore, the accident sites occurring in the area were plotted on a map.

As a result, the following was found. The incidence of accidents is high at the time of returning from school. Many accidents occur near elementary schools. Many roads occur on relatively narrow roads. It is characterized by parking lots around the site.

1. 研究背景と目的

少子高齢化の進展により、総人口に占める子どもの割合は減少している。また、交通事故死者数は、1970年をピークに年々減少し、ピーク時の1/3程度まで減少した。子どもの交通事故も減少しているが、事故件数は依然多いままである。また、後述のように子どもの事故が多い地域と少ない地域の差が大きいことなどが明らかになっている。すなわち、子どもの交通事故においてこのような地域差が生じるのは、道路やその周辺環境の影響が大きいのではないかとこの仮説のもと研究を進めていく。

2. 研究方法と結果

文献調査と交通事故総合分析センター（ネット情報）においてデータを収集した。

Figure 1.によると、小学校低学年における事故の発生時刻をみると、16:00 から18:00、次いで、14:00 から16:00 に著しく集中している。

また、都道府県別に小学生の交通事故を分析した結果、小学生10万人当たりの交通事故負傷者数が最も多い都道府県は、静岡県であった。さらに静岡県の市町村別で分析した結果、浜松市中区が最も小学生の交通事故が多

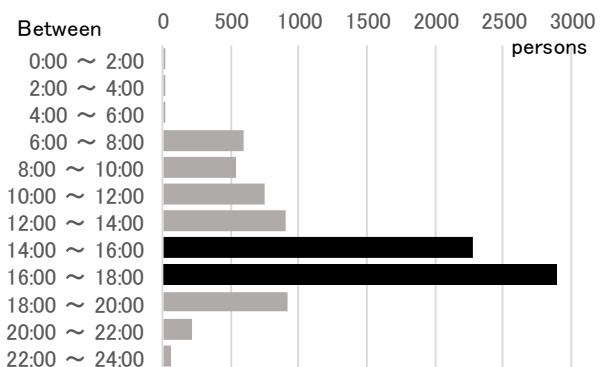
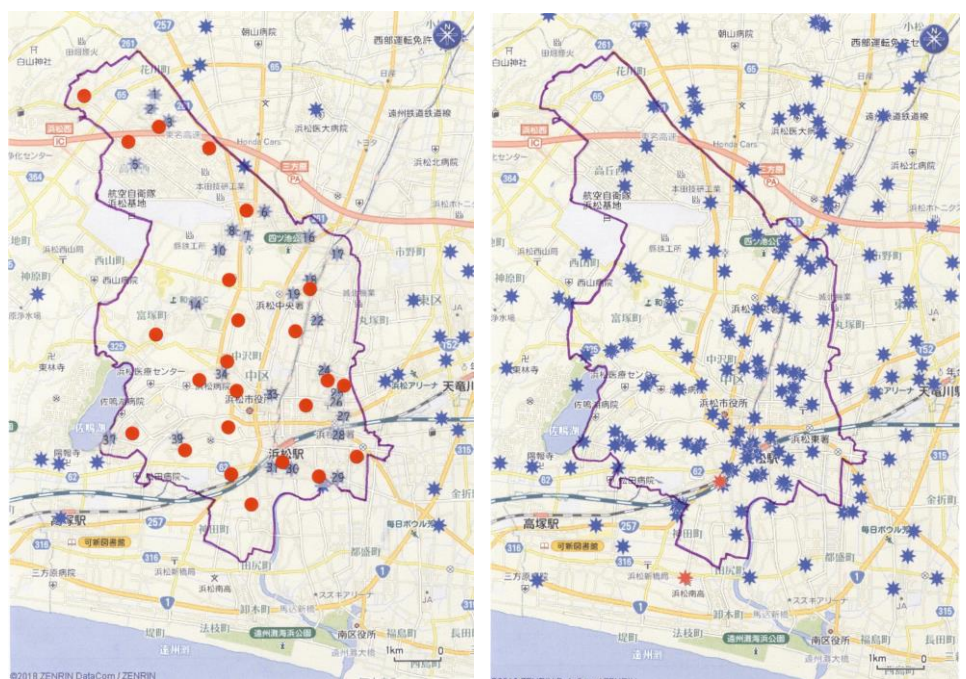


Figure 1. Total number of traffic fatalities and injuries from elementary school 1st grade to 3rd grade, by time zone, 2018



Elementary school student accident

Elderly accident

Figure 2. Plot of traffic accident scene

1 : 日大理工・学部・まち, 2 : 日大理工・教員・まち

く発生していた。

そこで、2018 年度における同区の小学生の事故現場を Figure 2. 左図 のように地図上にプロットした。また小学校の場所を、同図に●印で表した。

あわせて比較対照群として、同区高齢者の事故現場をプロットしたものが Figure 2. 右図である。

これらの事故発生地点について google map によって主要方向の写真を切り出し、発生場所の特徴を読み取った。

2-1. 小学生の交通事故発生場所の特徴

事故の起こる時間帯(Figure 1)ならびに事故発生場所の地図プロット図(Figure 2)から、以下のことがわかる。

- ・ 下校時間帯、放課後における事故の発生率が高い。
- ・ 事故は小学校の近くで多く起きる。(ただし当該小学校児童の事故であるかは不明。)

さらに事例写真 (Figure 3, 4 は小学生の事故現場, Figure 5 は高齢者の事故現場) から、次のことがわかる。

- ・ 現場もしくは付近の道路は主要道路ではなく、道幅は比較的狭い生活道路内で多く起きている。
- ・ 現場自体もしくはその周辺に駐車場がある。道路に面した駐車場付近で事故は多く起きている。

2-2. 対照群の高齢者の交通事故発生場所の特徴

- ・ 道路幅が広い主要道における事故が多い。

これ以外にも、高齢者は日中はどの時間帯においても事故が起きているが、17 時台が多い。

さらに、小学生の歩行者と二輪車との事故割合は 3.85% で、高齢者の歩行者と二輪車との事故割合は 1.05% である。小学生は二輪車との事故が、高齢者と比較して 3 倍以上も多い。

3. 考察

小学生の交通事故統計レポートより、登下校時に交通事故が起きていて、下校中や放課後の事故が多い。現場の道幅は狭く、駐車場にある駐車車両などによって見通しが悪いことが特徴である。

小学生の歩行者と二輪車との事故の割合が著しく高いことから、小学生と二輪車との関係が注目される。

これらの結果をもとに、こうした事故要因と地域の道路の現状について、さらに研究を進める必要がある。

4. 参考文献

- [1] 警察庁：警察白書，統計資料，統計 5－6 時間帯別，学齢別の交通事故死者数及び負傷者数，2017 年
 [2] 交通事故総合分析センター：統計資料，統計表データ，都道府県別 年齢層別 負傷者数，2018 年

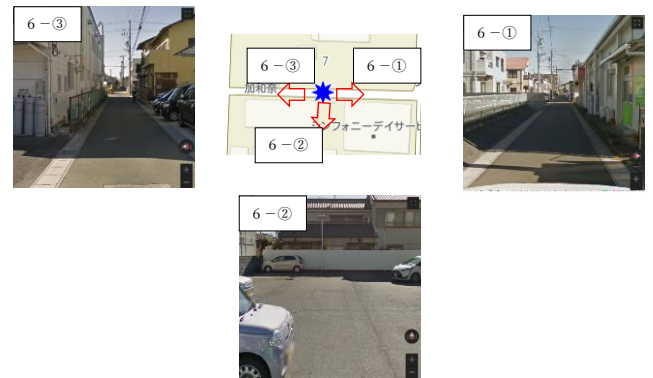


Figure 3. Example of the situation in the field where an elementary school student was in an accident 1



Figure 4. Example of the situation in the field where an elementary school student was in an accident 2

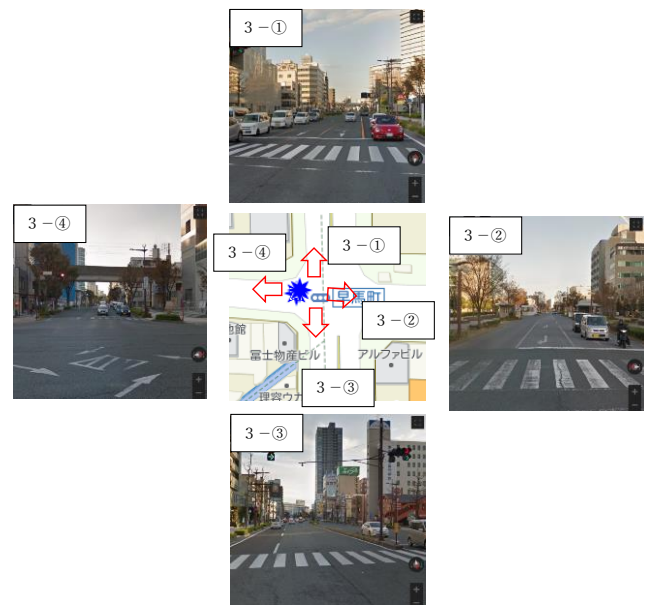


Figure 5. Example of the situation in the field where an elderly person had an accident

- [3] 文部科学省：文部科学統計要覧（平成 30 年度版），学校教育総括，在学生数，2019 年
 [4] 静岡県警察：交通事故発生状況，交通事故発生マップ，統計レポート，2019 年